



安威川ダム魚類等調査

安威川ダムの建設が河川環境に及ぼす影響を把握するため、安威川の魚類とその餌となる付着藻類や底生動物などの水生生物の生息状況を調査しています。

安威川ダムとは？

- 大阪府では、一級河川安威川流域の洪水を防ぐために、安威川ダムを建設しています。
- このダムの完成により、時間雨量80ミリ程度かつ日雨量250ミリ程度の大雨を想定した、ダムの下流域の洪水被害を防ぎます。
- 2014年にはダム本体工事に着手し、2022年の完成を目指して事業を推進しています。
- ダム建設は、その水辺や周辺の山林の環境に少なからず影響を及ぼすことから、建設中から完成後も視野に入れて、ダム建設の影響を可能な限り小さくするための取り組みを進める必要があります。



天候により一変する安威川の流況



ダム建設現場

安威川にすむ水生生物とその調査

- 安威川にすむ多くの生物が生きるために、適した環境や必要な餌などの現状を、様々な方法を用いて調査しています。
- 安威川には、特別天然記念物のオオサンショウウオや大阪府レッドリスト絶滅危惧Ⅰ類のアジメドジョウなどの希少な生物をはじめ、様々な生物がすんでいます。
- 増水時の急流により、川にすむ生物の種類も一変します。このような自然の摂理による変化を把握することも非常に重要であり、ダム建設後の生物の保全にも役立てていきます。



川底の石に付着する生物の調査



潜水による魚類の目視調査



オオサンショウウオ



アジメドジョウ



石に付着する藻類の顕微鏡観察
(肉眼では同じように見えるが、増水により種類が一変)